



学校教育目標 **自分で考え、行動する右田っ子の育成**
～感動とつながりのある活動を通して～

次につながる学年のまとめを！

「結果（成果）は出ずとも、成長している。」私は、よく子どもたちにこう話します。決して結果は必要ないと言っているのではありません。自分が一生懸命に努力したことは、必ず自分のためになっているからです。それをすぐ結果が出るか出ないかで一喜一憂する必要はないと思っています。何かを始めたとき、人によっては、数日で変化が見えることもあるでしょう。でも、ある人は何日たっても大きな変化が見えないときがあるかもしれません。しかし、必ず自分の中で何か変化（成長）しているのです。こんなことを考えているとき、必ずある詩を思い浮かべます。

それは、「金子みすゞ」さんの「星とたんぼぼ」です。最後の1行「見えぬものでもあるんだよ。」が分かるような「**見えぬものが見える目や心**」を身につけたいものです。

また、「7つの習慣」(スティーブン・R・コヴィー著)には、「中国の竹」というお話があります。紹介します。

「中国の竹」には、種を蒔いても芽が出るだけで、3、4年は全く成長が見られないものがあるそうです。ところが4、5年後、一気に20メートル以上も伸びるというのです。では、その3、4年間、竹は何をしていたのでしょうか。そうです。20メートル以上も伸びる自分の身体を支えるために、**来る日も来る日も地中深く根を張っていた**のです。もし、脆弱な根で20メートル以上も成長したら、倒れて自滅してしまうからです。

つまり、努力が結果(成果)として目に見えなくても、成功につながる努力としてそれは積み重なっていると考えられるということです。どこにゴール(目標)を置くかによって様々な考え方があるかもしれませんが、自分の人生を考えると全ての人にとって大切なことではないかと思えます。

いよいよ学年の終わりを迎えようとしています。2月、3月を、**自分が納得できるまとめ**とするように、そして、それが**新しい学年のスタートにつながるまとめ**となるように頑張ってくださいと思っています。

星とたんぼぼ 金子みすゞ
青いお空のそこふかく、
海の小石のそのように、
夜がくるまでしずんでる、
昼のお星は目にみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものでもあるんだよ。
ちつてすがれたたんぼぼの、
かわらのすきに、だまって、
春のくるまでかくれてる、
つよいその根は目にみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、
見えぬものでもあるんだよ。

1/10 漢字計算大会の様子



2学期に、そして、冬休みに頑張った成果が出たでしょうか。3学期も続けて頑張ることが、自分の成長のためになることです。結果から、**次どうしたらよいか自分で考え、行動する右田っ子**であってほしいと思います。



